



# 統合開発クラウド NTTデータ グループ会社様向け説明資料

2021年12月1日  
技術革新統括本部  
システム技術本部

# はじめに（サマリ）

2020年4月よりR&D成果包括利用契約を締結されているNTTデータグループ会社を対象に「統合開発クラウド」のサービス提供を開始いたしました。

- NTTデータ グループ会社にてお客様と直接受注された案件で**統合開発クラウドの利用が可能**です。

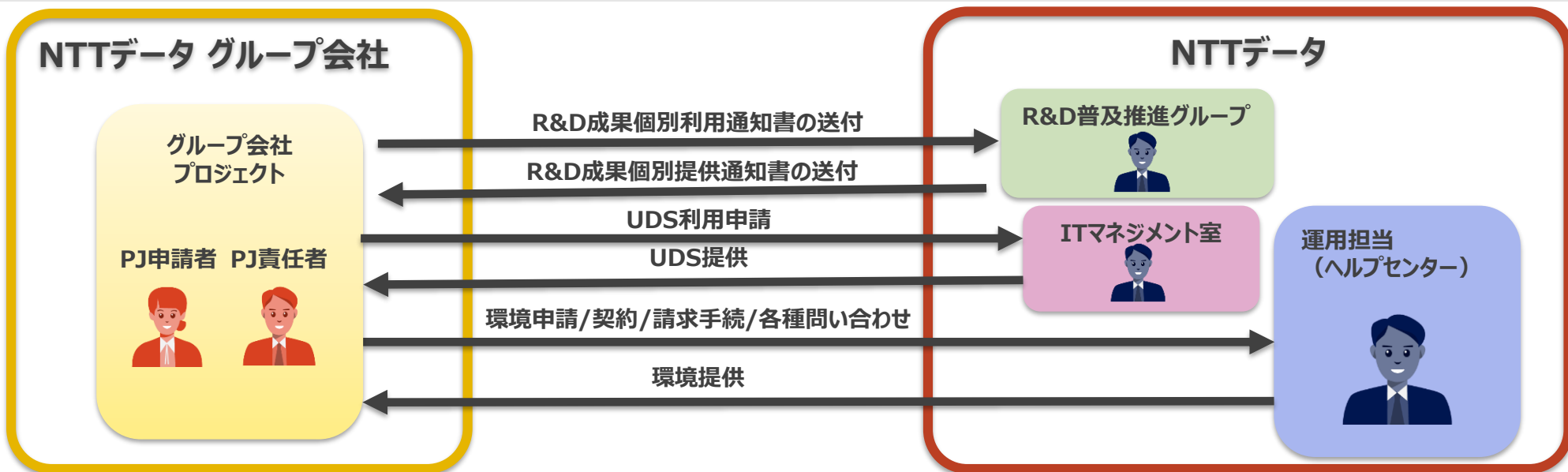
【NTTデータ グループ会社プライムとは】

NTTデータ グループ会社（R&D成果包括契約締結会社）が、フロントに立ってお客様と直接契約し受注している案件を「NTTデータ グループ会社プライム案件」としております。

NTTデータが受注した案件で、NTTデータ グループ会社で統合開発クラウドをご利用する場合は、NTTデータプライムが利用する、統合開発クラウドのご利用となります。

# 利用スキーム

## 窓口の設置が不要となり、各プロジェクトから直接やり取り可能



No	プレイヤー	主な作業内容
1	PJ申請者 (各PJ)	申請書の作成、各グループのユーザ登録申請
2	PJ管理者 (各PJ)	契約/請求手続、ユーザ登録、各種サービス利用/変更申請、G-UIIMグループのユーザ登録承認
3	R&D普及推進グループ	R&D成果包括契約締結、R&D成果個別通知の管理
4	運用担当者 (ヘルプセンター)	契約/請求手続、導入サポート、申請書受付、環境提供
5	ITマネジメント室	UDS新規/追加申請手続、UDS払出

# 統合開発クラウドの概要

# 統合開発クラウドとは

システム開発全体の生産性向上と、デジタルによる働き方変革を実現します



最新のデジタル技術をすぐに試せる！  
事前検証・開発・維持フェーズで利用可能！

ワンストップ



## ① 開発環境サービス システム基盤構築

### デリバリーサービス



- スタック
- パッケージソフトウェア

### プライベートクラウドサービス



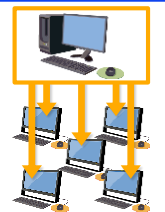
- OpenStack
- VM

### パブリッククラウドサービス



- AWS
- Azure 等

### 開発端末管理サービス



## ② 開発支援サービス アプリケーション開発／プロジェクト管理

### 開発ツール



### 管理ツール



PM/ITSM  
ワークベンチ

### プロフェッショナルサービス



- 第三者チェック
- まかせいのう他

## ③ 開発ネットワークサービス

デフォルトネットワーク

UDSネットワーク  
(統合開発セキュリティ基盤サービス)

# グループ会社プライム案件での 統合開発クラウドご利用について

# グループ会社プライム案件の利用対象サービス

○：対象、×：対象外、△：対象予定

大分類	小分類	サービス名称	対象	備考
開発環境サービス	開発ダッシュボード		○	PJ毎に作成可能。
	プライベートクラウドサービス	OpenStack	○	標準提供枠（1開発ダッシュボードごと） vcpu:40コア・メモリ:100GB・ストレージ:2TBを提供。 追加料金 [vcpu:20コア/メモリ:50GB]ごとに、50,000円/月 [ストレージ:1TB]ごとに、20,000円/月
		VMware	○	2021年12月より提供予定。
		Oracle DB SE2	×	Oracleライセンスがグループ会社へ提供できない為、利用不可。 OCIマネージド版でオラクル製品の利用が可能。
	パブリッククラウド接続サービス	AWSセルフサービス版	○	2021年12月より提供予定。
		Azureセルフサービス版	○	
		OCIマネージド版	○	開発ダッシュボードから申請不可。統合開発クラウドヘルプセンターへ申込。
	デリバリサービス		○	
	開発端末管理サービス		○	
	NCITオフショア連携サービス		×	オフショアネットやインターネットVPNにてオフショア先との接続は可能。
	バックアップリストアサービス		○	複数環境をお申込みいただくことで、環境間での移行も可能。

# グループ会社プライム案件の利用対象サービス

○：対象、×：対象外、△：対象予定

大分類	小分類	サービス名称	対象	備考
開発支援サービス	開発ツール	開発BXO（※1）	○	「NTTデータグループ会社向け開発BXOご説明資料」を参照。
		TERASOLUNA Suite	○	TERASOLUNA DSは2021年3月末をもって新規案件に対する提供を終了。
	管理サービス	PMWB	○	開発ダッシュボードから申請可。利用次第では有償。
		LRSaas	○	開発ダッシュボードから申請可。ただし2021/12/23新規払い出し期限、翌9月末がサポートおよびサービス提供終了見込み。利用次第では有償。
	プロフェッショナルサービス		○	開発ダッシュボードから申請は不可。個別問い合わせにて利用可。

（※1）NTTデータグループ会社向け開発BXOご説明資料

[https://nttdataudc.service-now.com/udc?id=kb\\_article&sys\\_id=3a4f1d82db611410925af6c6f3961909#service](https://nttdataudc.service-now.com/udc?id=kb_article&sys_id=3a4f1d82db611410925af6c6f3961909#service)

開発BXOに記載の「NTTデータグループ会社向け開発BXOご説明資料」を参照



# グループ会社プライム案件の利用対象サービス

○：対象、×：対象外、△：対象予定

大分類	小分類		サービス名称	対象	備考
開発 ネットワーク サービス	デフォルトネットワーク			○	申請は可能だが、検証を実施していない為、検証予定。 協力いただけるグループ会社様募集。
	UDSネット ワーク (※2)	基本 サービス	ネットワーク接続サービス	○	2021年7月より、管理外NW接続、ラック利用、現地 立会対応を提供開始。
		インフラ サービス	セキュアインターネットアクセス サービス	○	個別プロトコル利用サービスは、2021年7月より有償。
			インターネットメールセキュリティ サービス	○	2021年7月より提供開始。グループ会社向けにはメー ルアーカイブ機能の提供予定はなし。
			端末セキュリティ管理サービス	○	2021年7月より提供開始。

(※2) 統合開発セキュリティ基盤(UDS)は、2021年7月からグループ会社への正式サービスを開始しました。  
グループ会社 1 社に提供するUDSネットワークは最大10までとなります。  
同一UDS上においては、テナンシーは確保されません。  
テナンシー確保はプロジェクト毎に仮想環境（OpenStack）で対応が必要です。

# グループ会社プライム案件の利用対象サービス

○：対象、×：対象外、△：対象予定

大分類	小分類		サービス名称	対象	備考
開発 ネットワーク サービス	UDS ネット ワーク	インフラ サービス	UDSアクセス 中継サービス	○	2021年7月より、無償枠を超えての申し込みが可能。
			ファイル中継	○	UDS導入時のみの限定利用。通常はETRAPNPOT（※3）等を利用。

（※3） ETRANPOTでのファイル転送方法は「ETRAPNPOT接続手順書」を参照。

[https://nttdataudc.service-now.com/udc?id=kb\\_article&sys\\_id=3a4f1d82db611410925af6c6f3961909#service](https://nttdataudc.service-now.com/udc?id=kb_article&sys_id=3a4f1d82db611410925af6c6f3961909#service)

# 同一UDS間で相互接続可能なテナント数(EPG)上限について

UDS間で相互接続可能なテナント数(EPG)は**24**となっており、カウント対象となるのは以下のサービスです  
※24EPGを超えて申請が合った場合、既存環境の整理をお願いする場合がありますので、ご了承ください。

サービス名称		備考
プライベートクラウドサービス	OpenStack	各サービスとも1テナントにつきEPGが1カウントされます。
	VMWare	
	Oracle DB SE2	
UDSアクセス中継サービス		中継デスクトップ機能利用のために確保するIPアドレスレンジ1サブネットにつきEPGが1カウントされます。(最大5サブネット作成可能)
開発BXO		1契約につきEPGが1カウントされます。

※参考：統合開発クラウドポータルサイト 利用できるサービス>開発ネットワーク>共通

[https://nttdataudc.service-now.com/udc?id=kb\\_article&sys\\_id=e55905f61b520450614c4226cc4bcb10](https://nttdataudc.service-now.com/udc?id=kb_article&sys_id=e55905f61b520450614c4226cc4bcb10)

# グループ会社プライム案件での 統合開発クラウドご利用料金について

# 利用料金（2021年4月時点）

## 一部制約はあるものの、大きな費用負担なく利用開始が可能

費用（※）	サービス内容	内容	備考
有償 （標準提供枠 分のリソースは 無償）  （グループ 運営費対象）	開発環境 サービス	標準提供枠では、案件（プロジェクト）毎に以下内容をご利用頂けます。 ・ <u>プライベートクラウドサービス（OpenStack）</u> 1案件における総クォータ利用量※が [vcpu:40コア/メモリ:100GB/ストレージ:2TB]まで利用可能 ※超過利用は別途有償	左記のサービス提供にあたる費用はグループ運営費として会社単位で受領しております。
有償  （個別契約）	開発支援 サービス	下記サービスの利用料金に関しては提供主体の規約に基づいた料金が発生 ・ <u>管理サービス（TERASOLUNA Suite）</u> ・ <u>開発ツール（PMWB、LRSaaS）</u>  ・ <u>開発ツール（開発BXO）</u>	PMソリューションポータルからお申込みいただきます。
有償 （正式サービス開始）	開発ネット ワークサービス	2021年7月より正式サービスを開始。インターネットメールセキュリティサービスのメールアーカイブ機能を除きほぼ通常のサービス利用が可能。 課金形態については「統合開発セキュリティ基盤サービス仕様書(グループ会社版)」を参照。 <a href="https://uds-portal.x-network.jp/uds/doc/servicecatalog_group.pdf">https://uds-portal.x-network.jp/uds/doc/servicecatalog_group.pdf</a> UDS料金は、UDS申請画面で確認可能。UDS申請をするためにはダッシュボードの作成が必要だが、ダッシュボード作成自体は無償。	トライアル版から移行が完了していない環境につきましては、移行完了までは無償となります。

# 利用料金（2022年4月以降）

## 主な変更点

プライベートクラウドサービス（OpenStack）の標準提供リソースの無料提供を撤廃し、利用者（NTTD本体・G会社）に半期単位で費用負担いただく

	～2022年3月	2022年4月～	参考：提供リソース量
標準提供リソース分	無料	基本料を設定 半期 6万円 * 利用開始時の前半期は無料	CPU：40コア メモリ：100GB ストレージ：2TB
追加リソース分	有料	有料（変更なし）	20コア／50GBメモリ毎：月額5万円 1TBディスク毎：月額2万円

\* 標準提供リソース利用料は、開発ダッシュボード毎に半期（1Q・3Q※詳細な時期は検討中）に1度の社取請求または請求書払いを行う。  
（前払い・途中解約無効）

\* 追加リソース利用料は、今後四半期に1度の請求処理を実施（請求月は検討中）。

### 【基本料金の再調整が必要なケース】

1. 社シス費の予算に変動があった場合
2. FY2021比、30%以上のPJが減少した場合
3. FY2022以降に新規利用PJ数が予測を大きく上回った場合

# グループ会社プライム案件での プロジェクト利用開始までの流れ

# プロジェクト利用開始前準備

利用開始前に、下記を確認してください。

初回のみ実施

R&D成果包括契約締結済か？ ※

なし

R&D包括契約の締結

詳細は「グループ運営費によるR&D成果物の提供方法について」参照  
<https://home.groupwide.net/nttdata/bds/rd/>

あり

統合開発クラウドについて、R&D個別提供通知書は提出済みか？

なし

R&D個別利用通知書の送付

詳細は「グループ運営費によるR&D成果物の提供方法について」手順3参照  
<https://home.groupwide.net/nttdata/bds/rd/>

あり

既存のUDSを利用するか？

いいえ

UDSプロジェクトグループの作成  
UDS利用申込書の送付

詳細はグループ会社の利用者向け「申し込みの流れ」参照  
[https://uds-portal.x-network.jp/uds/intro\\_groupprime01.asp](https://uds-portal.x-network.jp/uds/intro_groupprime01.asp)

はい

中継デスクトップにアクセスする開発者は分けたい？ 又はUDS名と違うか？

いいえ

次頁以降で「UDSプロジェクトグループ」の作成は不要

はい

次頁「プロジェクト開始の流れ」へ

※ 下記「R&D成果包括契約締結会社一覧」に記載があるか確認してください  
[https://home.groupwide.net/nttdata/rd/rd\\_seika/company.pdf](https://home.groupwide.net/nttdata/rd/rd_seika/company.pdf)



# プロジェクト利用開始までの流れ

## ステップ

## 説明内容

### 利用準備

認証情報の登録（X-UIM、UDSプロジェクトグループ作成）

リードタイム：申請後、翌日

統合開発クラウド利用申請（開発ダッシュボードの作成）※

リードタイム：申請後、即時

### サービス 利用申請

開発ダッシュボードから各種サービス利用申請

リードタイム：サービス毎に異なります

### サービス 利用開始

- 開発環境サービスによる環境作成
- 構築した開発環境へのアクセス

※ダッシュボード作成時に記載するため、事前に請求情報を抑えておいて下さい

## 【利用準備】認証情報の登録

- ・統合開発クラウドでは2つの認証サービスを利用しています。

### G-UIM 認証

- 開発ダッシュボード
- 開発環境サービスプライベートクラウド
- 開発支援サービスライブラリリポジトリSaaS

### 統合開発セキュリティ基盤(UDS) 認証

- 開発環境サービス パブリッククラウド
- 開発ネットワークサービス アクセス中継

(例) 部門LANからアクセス中継機能経由でプライベートクラウドを利用したい場合

機 能	認 証 種 別	プロジェクトグループ種別	説 明
開発ダッシュボード (必須)	G-UIM	ダッシュボード管理者	開発ダッシュボードの全機能が利用できる
		ダッシュボード利用者	開発ダッシュボードの一部機能が利用できる
プライベートクラウド (OpenStack)	G-UIM	テナント管理者	OpenStackの管理コンソールを利用できる
アクセス中継	統合開発 セキュリティ基盤	アクセス中継用	アクセス中継サーバにログインできる。 OpenStackテナント上のVMにアクセスできる

統合開発セキュリティ基盤(UDS)認証で用いるUDSプロジェクトグループは用途により複数作成いただき、ご利用が可能です。  
例：アクセス中継サーバ1と2でログインできるユーザを分けたい

# 【利用準備】統合開発クラウド利用申請

統合開発クラウドを利用開始するには、以下3つの申請が必要です。

## STEP1

### X-UIMグループ登録申請



ダッシュボード管理者・利用者の  
プロジェクトグループを  
登録します

## STEP2

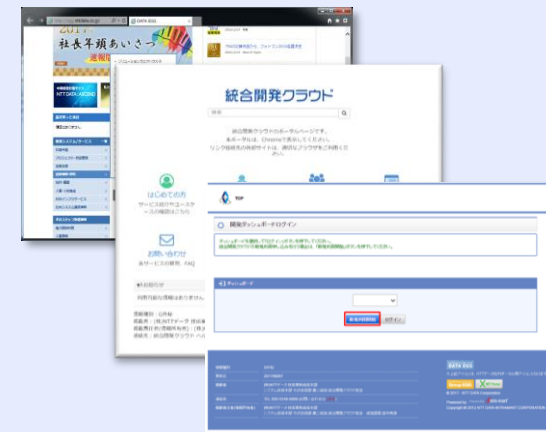
### UDSグループ登録申請



利用する機能に応じて  
必要なプロジェクトグループを  
登録します

## STEP3

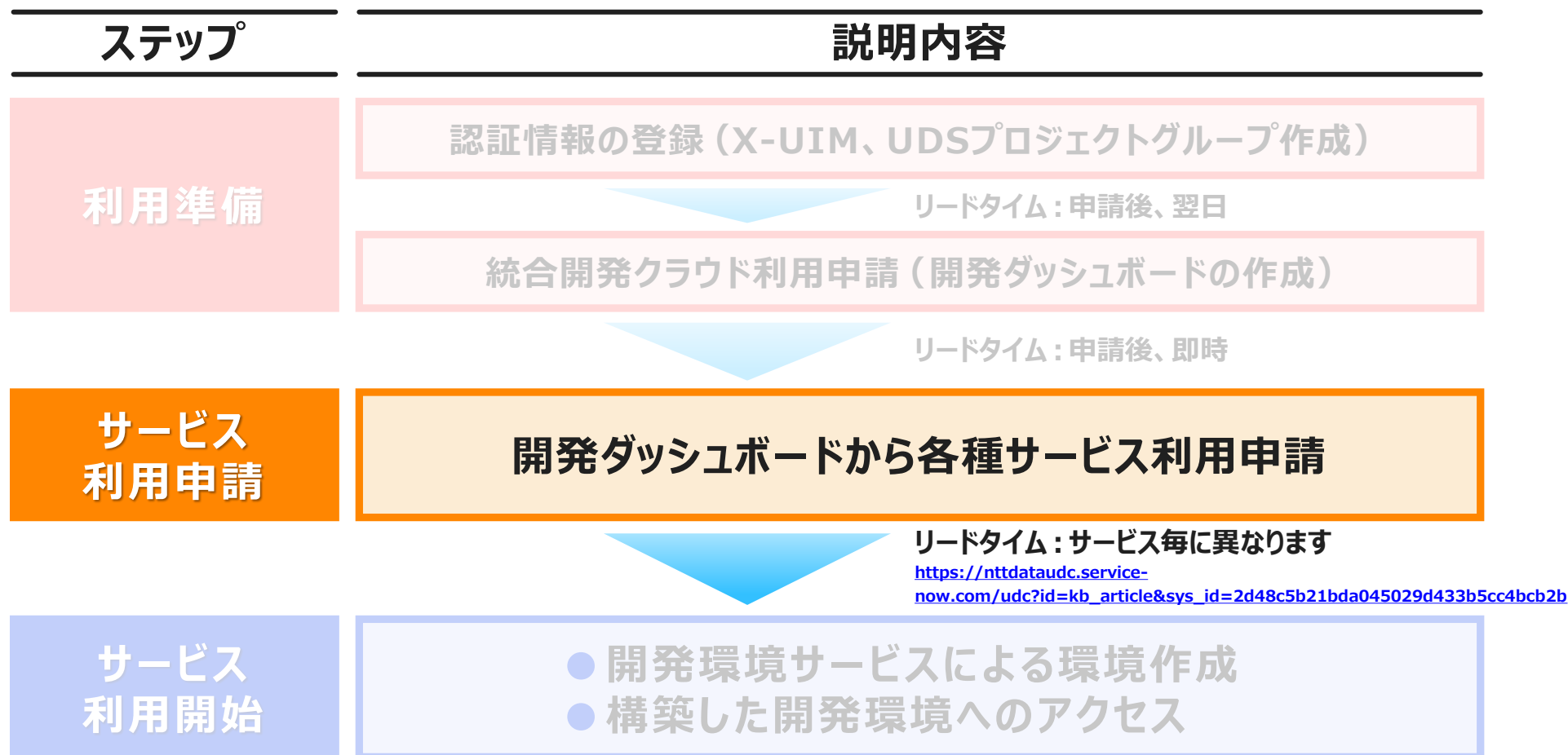
### 開発ダッシュボード利用申請



開発ダッシュボード新規利用  
開始申請後、各種連携  
サービスの利用申請をします

※DATA EGG画像はNTTデータの社内のみ

# サービス利用開始までの流れ



# 【サービス利用申請】ポータルサイトから開発ダッシュボードへログイン

開発ダッシュボードからサービス利用申請ができます。

**開発ダッシュボードをクリック**

**ダッシュボードを選択、ログイン**

**ダッシュボードトップページ**

総合開発クラウド

開発ダッシュボードログイン

ダッシュボードトップ

UDCハンズオン(基環境) (管理者) ログイン

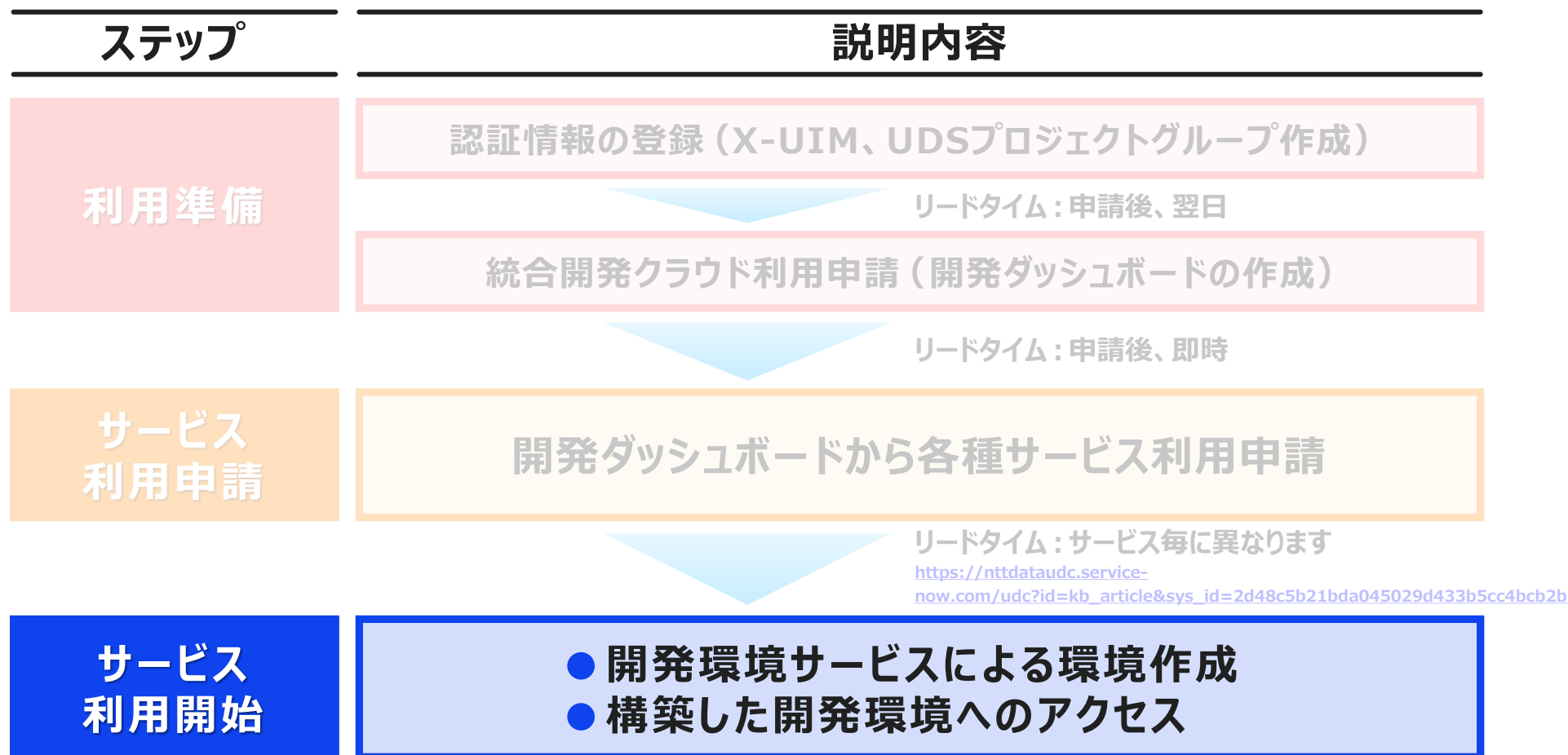
2018年9月(第1～5日)	メモリ(MB)	CPU(コア数)	ストレージ(GB)	アクセス帯域(GB/月)
テナント毎の料	0	0	0	0
標準提供	0	0	0	0
超過料	0	0	0	0
利用料金	¥0	¥0	¥0	¥0
利用料金総額	¥0	¥0	¥0	¥0

# 【サービス利用申請】開発ダッシュボード機能 サービス利用申請のイメージ

開発ダッシュボードのWebフォーマットから各種サービスを申請します。



# サービス利用開始までの流れ



# 【サービス利用開始】開発環境サービス 仮想マシンの起動

統合開発クラウド提供のOSイメージから仮想マシンを作成できます。

## OSイメージから ボリュームを作成します

ボリュームの作成

ボリューム名

説明

ボリュームソース

種類

容量 (GB) \*

アベイラビリティゾーン

ボリュームの作成

用意された  
OSイメージの選択

ディスク容量  
の入力

ボリュームの作成

## リソース情報を選択し、 仮想マシンを起動します

インスタンスの起動

詳細

ソース

ネットワーク

インスタンスの起動

名前	CPU	メモリ	合計ディスク	ルートディスク	一時ディスク	パブリック
2cpu4gb	2	4 GB	0 GB	0 GB	0 GB	はい

利用可能

ネットワーク

共有

管理状態

ステータス

provider

いいえ

動作中

稼働中

インスタンスの起動

CPU・メモリの選択

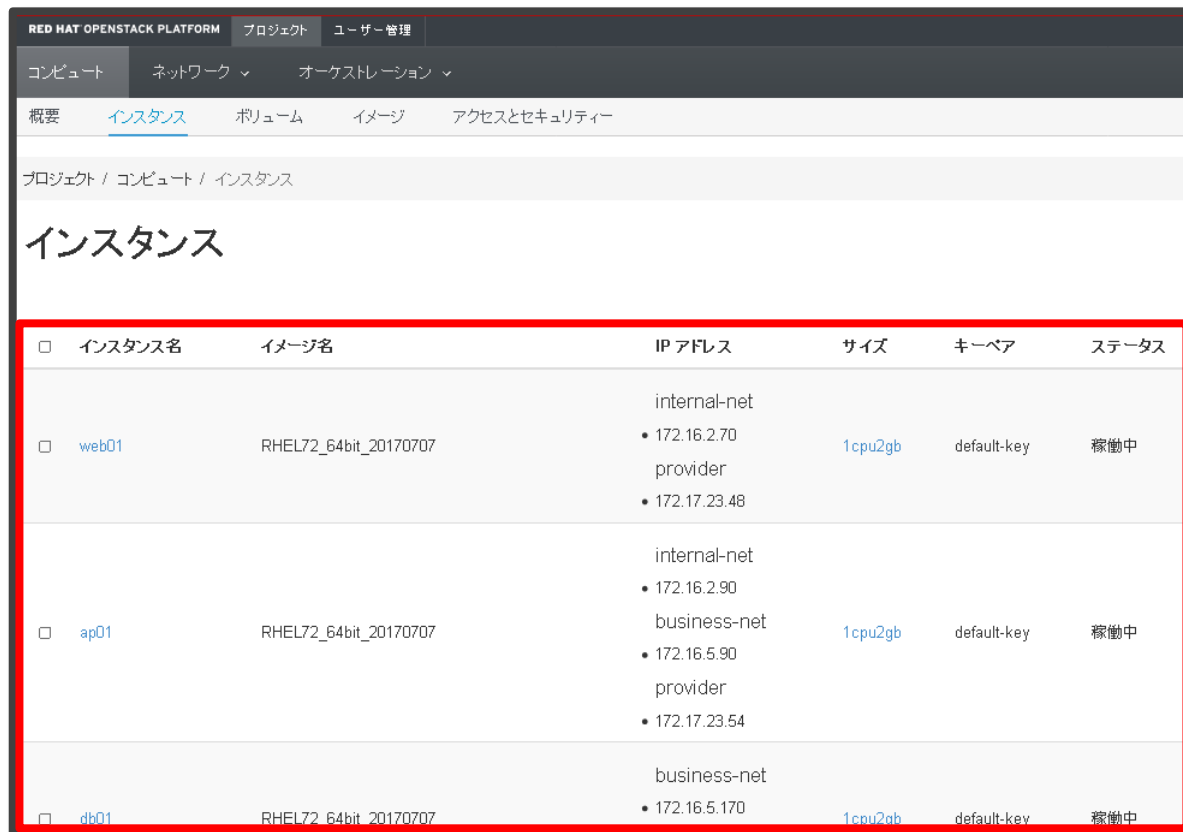
利用するネットワークの選択

インスタンスの起動



# 【サービス利用開始】開発環境サービス 仮想マシンの起動確認

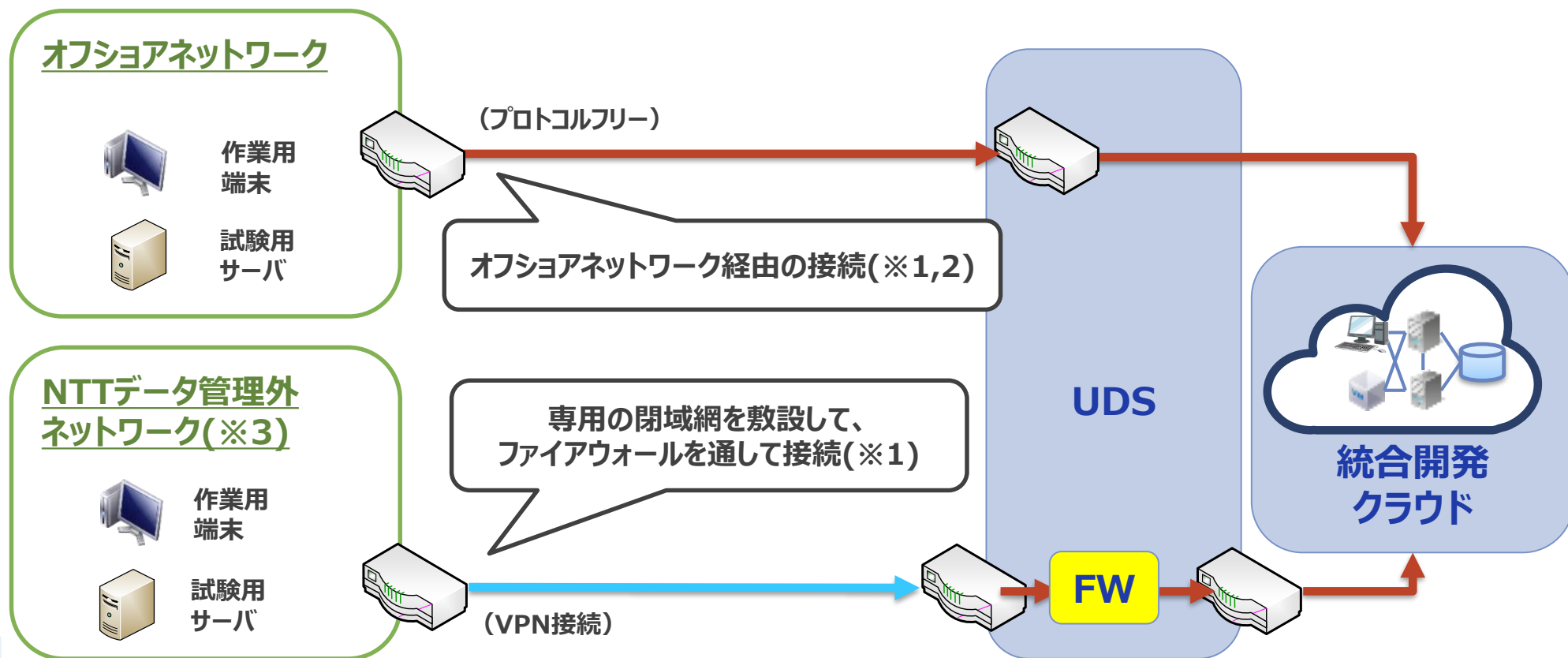
起動した仮想マシン一覧を確認できます。



RED HAT OPENSTACK PLATFORM						
プロジェクト ユーザー管理						
コンピュート ネットワーク オークストレーション						
概要 インスタンス ボリューム イメージ アクセスとセキュリティ						
プロジェクト / コンピュート / インスタンス						
インスタンス						
<input type="checkbox"/>	インスタンス名	イメージ名	IP アドレス	サイズ	キーペア	ステータス
<input type="checkbox"/>	web01	RHEL72_64bit_20170707	internal-net • 172.16.2.70 provider • 172.17.23.48	1cpu2gb	default-key	稼働中
<input type="checkbox"/>	ap01	RHEL72_64bit_20170707	internal-net • 172.16.2.90 business-net • 172.16.5.90 provider • 172.17.23.54	1cpu2gb	default-key	稼働中
<input type="checkbox"/>	db01	RHEL72_64bit_20170707	business-net • 172.16.5.170	1cpu2gb	default-key	稼働中

# 統合開発クラウドへのネットワーク接続について（正式サービス版UDS）

## トライアル版の接続方式に加え、 オフショア環境やNTTデータ管理外ネットワークからも接続可能



(※1)：接続に係る回線、VPNルータの費用等はグループ会社負担 (※2)：別途オフショアネットワークの契約が必要

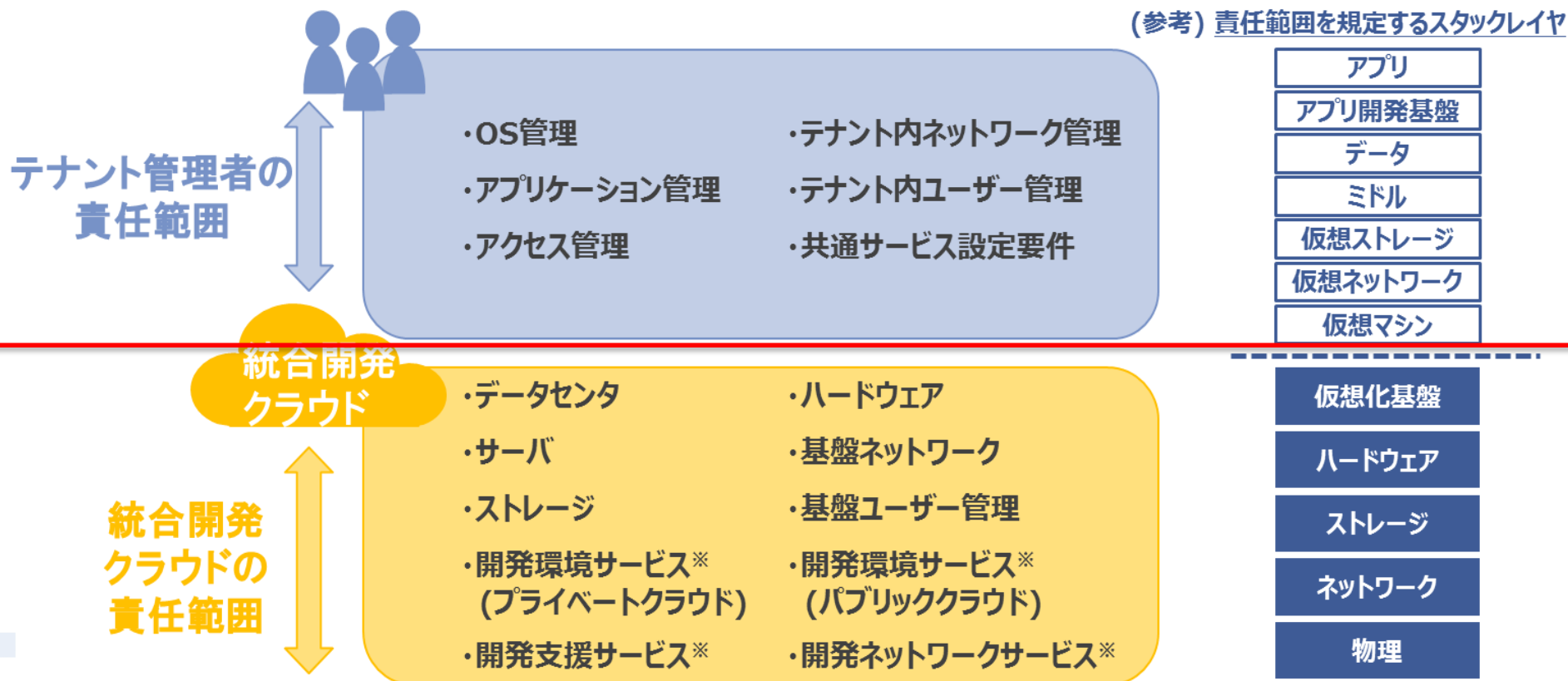
(※3)：「NTTデータ管理外ネットワーク」についてはコチラ(p.19) ⇒ [https://uds-portal.x-network.jp/uds/doc/01\\_manual/01\\_manual\\_network.pdf](https://uds-portal.x-network.jp/uds/doc/01_manual/01_manual_network.pdf)

よくあるお問い合わせ

# セキュリティ責任分界について

## 統合開発クラウドとテナント管理者の責任分界は以下の通り

テナント管理者の責任範囲において、テナント管理者はセキュリティ対策を実施・管理する必要がある。  
必要な対策・対策例については、「統合開発クラウドマニュアル 管理者編セキュリティガイドライン」を参照のこと。  
(※NCIT版統合開発クラウドに関しては「NCIT版統合開発クラウドマニュアル 利用者編セキュリティガイドライン」を参照のこと。)



# UDSの終了申請について

## 下記手順に則り終了申請を進めてください

### ■ 終了手順

1. 下記を参考に、通常のUDS終了条件を満たしておく。
  - [FAQ:【開発ダッシュボード】サービスの利用終了申請方法](#)
2. 統合開発クラウド ヘルプセンターにUDSの終了連絡をする
  - お問い合わせ種別は、「**[UDS][サービス利用中]すべての問合せ**」にてお問い合わせください。
  - お問い合わせ頂いた後、ヘルプデスク上でITマネジメント室とやり取り頂き、利用終了申込書を提出いただきます。
  - 詳細はUDSポータルサイトの「[グループ会社の利用者向け 利用終了の流れ](#)」を参照ください。

### ■ 注意点

上記手順を踏まず、開発ダッシュボードよりUDSの終了申請を実施してしまうと、**契約が解除されず、費用が発生し続けてしまいます。**

適切な終了方法は、2のヘルプデスクよりご案内致しますので、UDSの削除申請を先に実施しないようご注意ください。

## ご利用希望について

# 本資料に対するご質問

下記担当へご連絡ください。

○連絡先

[udc-nttd-gprime@am.nttdata.co.jp](mailto:udc-nttd-gprime@am.nttdata.co.jp)

○担当先

株式会社NTTデータ

技術革新統括本部システム技術本部生産技術部

ソフトウェア技術センタ

TERAaaS統合開発クラウド普及展開窓口

